

ニュース NEWSなPHOTO

地域の力で明るい社会を

7/7
木

社会を明るくする運動記念講演会を開催

犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的とする「社会を明るくする運動」の記念講演会を、豊明市・日進市・長久手市・東郷町の4市町合同で開催しました。

保護司や更生保護女性会の会員を始め約250人が講演会に参加し、名古屋刑務所の受刑者の現状や社会復帰に向けた取り組みに熱心に耳を傾けていました。

講師の中田学司^{なかつた がくし}名古屋刑務所長は、「出所後の仕事や生活など、自治体の支援や地域で受け入れてもらい、再度罪を犯すことのないよう見守りが必要。社会全体で更生について理解を深めてほしい」と語りました。



ちびっこ警察官が交通安全を呼びかけ

7/13
水

飲酒運転しないでねキャンペーン

パレマルシェ東郷店で、和合保育園の園児10人が愛知警察署から借りた制服を着て飲酒運転の防止を呼びかけました。

園児たちは初めての制服に少し緊張していましたが、みんなで発声練習をすると自信が出てきた様子。本番では「飲酒運転をしないでね」と元気な声で、来店した人たちを笑顔にしていました。

園児たちは「ちょっと緊張したけど楽しかった!」「お客さんが『守ります』と言ってくれてうれしかった!」と話してくれました。とてもよい思い出になったようです。



異文化理解&交流事業

7/24
日

交流のひろばに集まろう!

東郷町国際交流協会の企画運営による「交流のひろばに集まろう!」(東郷町で暮らす外国人と日本人の交流を図る事業)が町民会館で実施されました。

様々な国籍の9人の外国人にベトナム出身のアンさんが、日本に来てよかったと思うことや困ったことなどを日本語でインタビューしました。インタビューを受けたアヤさんは、「日本はお飯がおいしい。特にお寿司やお刺身が好き」と上手な日本語で答えてくれました。

その後、好きな漢字1文字を書く書道体験や観葉植物を使ったハイドロカルチャー作りなど、国籍にとらわれずみんなでワイワイと楽しんでいました。

参加したイ スキョンさんは、好きな漢字を「絆」と決めて、国際交流協会の会員に筆遣いを教わりながら丁寧に書いていました。この日の体験が、外国人・日本人の絆を取り払いみんなが絆を結ぶきっかけになるかもしれません。

